

4 月 園だより

園長 小西 只剛

新たに仲間入りした子どもたち、父さん・お母さんたち、入園おめでとうございます。
今年度は0歳児13名、1歳児1名、3歳児2名、4歳児1名の新入園児を迎え95名でスタートします。

どんぐり保育園は、1968年に名大東山共同保育所として産声をあげました。何もなかったところから、働き・学ぶ父母たちの願いや要求に応え、みんなの力で作られた保育所です。厳しい共同保育所の中であっても、その時々子ども・父母・職員の願いや要求に応えるために、少しずつ条件を整えながら、産休明け保育をはじめ、障がいを持つ子どもの保育やアレルギー食や宗教食への対応、病後児の保育を実施してきました。

1976年には認可を受けて「どんぐり保育園」になりました。産休明け児から2歳児までの保育が始まり、1985年には父母・職員の願いであった幼児保育を開始し、産休明から就学前までの一貫した保育が出来るようになりました。お父さん、お母さんも2つの保育園にまたがる兄弟の送迎をしなくてもよくなりました。その後、働き学ぶ父母たちの労働実態を踏まえながら保育時間を延長し、午前7時15分から午後8時15分（土曜日は午後6時15分）までとなりました。

このように現行の制度や保育内容は、はじめからあったものではなく、これまでの多くの人々の力で作られ守られてきたものです。何もないところから「みんなの願い」で作られた・20名定員（3歳未満児）の小さな共同保育所が「みんなの力」で産休明けから5歳児までの90名定員の認可保育所となりました。

経営母体である緑の丘福祉会は、名古屋大学教授会の推薦により理事長を選出して来ました。現在は名古屋大学名誉教授の竹谷裕之（どんぐり保育園OB）です。理事会の下に、どんぐり保育園と医学部地区にあるひまわり保育園及び、名古屋市立大学統合保育所「さくらんぼ保育所」、が運営されています。

また、法人運営の執行機関として法人事務局を設置しています。事務局長は難波忠清（どんぐり保育園OB）です。

どんぐり保育園・ひまわり保育園・さくらんぼ保育所は

1. 子ども同士が育ちあう共同
2. 保育労働を接点に職員が学びあう共同
3. 働き、子育てする父母の共同
4. 子どもの幸せと成長への願いで結ぶ職員と父母の共同

上記の4つの共同を「民主経営」に引き継ぎ、父母・職員で運営委員会を構成し、子どもが育つ日常運営の責任を担って来ました。

2017年度も共同の伝統を引き継ぎ職員集団が共に学び、高め合い、子どもたちの成長と真摯に向かい合っていきます。どうぞ宜しくお願いします。

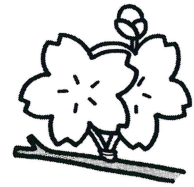
これまで多くの人たちによって作られた保育園の「財産」を引き継ぎ、今よりも少しでもよい保育条件と内容を次の世代に手渡して行きましょう。



入園おめでとうございます。

そして進級おめでとうございます。

どんぐり保育園は子どもたちと共に、大人たちもつながりあって、大変なときには”お互いさま”と助け合っていけるそんな保育園にしていきたいと考えています。



保育園にはじめてお子さんを預けることになる、お父さんやお母さんは“大丈夫かな？”“本当に大切な我が子を預けてよかったのかな？”と心配されるのではないのでしょうか？そんな思いは誰もが思うことです。でも、大丈夫です。保育園には同じようにそんな思いを持って子どもを預けはじめた、先輩お父さん、お母さんがたくさんいます。今ではみんなとても頼もしいお父さん、お母さんです。ぜひ、そんなお父さん、お母さんの力も借りて、助け合える大人の輪を作って行ってください。

子どもたちの育ちにとっては、遊びの仲間が必要で、保育園は遊ぶ仲間を保障していく場所です。子どもたちは、友だちが大好きです。友だちと一緒にいっぱい遊び、時にはケンカもしながら、相手の思いに気づき育ちあって行きます。

ところで、昨年話題になった「保育園落ちた 日本死ね」のブログが発端となり一気に待機児が社会問題となりました。今年度も保育園が決まらず「不承諾通知」が届いた人たちがまた大勢でした。

一方で、保育士の労働条件、処遇の厳しさを背景に保育士不足も深刻な問題となっています。この間、待機児対策の緊急策として、小規模型保育事業の定員の緩和（詰め込み）や設置基準があいまいな企業主導型保育事業に予算を付けて待機児童対策を進めるなど、子どもの育ちにとって何が大切なのかということ抜きに進められています。

待機児童の抜本的な解消は、公立保育園の縮小廃止をやめ、公立保育園や認可保育園の増設を図ることです。子どもたちにはどの子にも格差無く、国や自治体の責任のもとで、最善の利益が確保されることが大切です。

私たち大人は、次代を担う子どもたちが豊かに育ち、より良い社会を築いていける子どもたちを育てるために、力を合わせて行きましょう。

どんぐり保育園は、児童福祉法で定められた国や自治体が責任を持って保育の実施を行うという、本来あるべき保育制度を守って行く取り組みを全国の仲間と共に行っています。子どもたちが大切にされる政治、制度を共に作っていきましょう。

また、子どもたちが健やかに育つためには、平和な社会であり続けることが大前提です。

どんぐり保育園の理念には子どもたちの命と平和を守ることを大切に掲げています。憲法で定められた命と人権が守られ、子どもたちが平和な社会の中で希望を持って生きて行けるよう私たち大人たちは力を合わせて行きましょう。